

## 単元名 Unit 4 Be Prepared and Work Together

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 間接疑問文, SV00(what節), 現在分詞や過去分詞の後置修飾の形・意味・用法を理解することができる。そしてその理解を基に, 相手の伝えたいことを理解したり, 自分の伝えたいことを表現したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 簡単な語句や文を用いて, 自分のことを伝えたり, 相手のことを知るために尋ねたり, 相手からの質問に答えたりすることができる。また, 教科書本文の概要を捉えたり, 簡単な語句や文を用いて話したりすることができる。
- (3) 間接疑問文, SV00(what節), 現在分詞や過去分詞の後置修飾の用法を用いて, 自分の考えを書いたり, 話したり, 伝えたりしようとする。また, 日本に住む外国人の防災について書かれた文章の概要を捉えたり, 簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとする。

## 標準的な展開例

12250201\_001

【準備等】 デジタル教科書, 電子黒板, タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Scene1 間接疑問文について学習する。</p> <p>★知りたいことや知っていることを表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit4の表紙の絵について質疑応答をする。</li> <li>○Previewを聞き, 分かったことをペアで伝え合う。</li> <li>○コラムを読む。</li> <li>○間接疑問文の形・意味・用法を知る。</li> <li>○基本表現の学習をする。</li> <li>○Practiceに取り組む。</li> <li>○本文の学習をする。</li> <li>○オーラルイントロダクションを行う。</li> <li>○新出語句を確認する。</li> <li>○音読練習をする。</li> </ul> <p>2 Scene2 SV00(what節)について学習する。</p> <p>★外国人に日本で何をしたいか教えてほしいと言ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○SV00(what節)の形・意味・用法を知る。</li> <li>○基本表現の学習をする。</li> <li>○Practiceに取り組む。</li> <li>○本文の学習をする。</li> <li>○オーラルイントロダクションを行う。</li> <li>○新出語句を確認する。</li> <li>○音読練習をする。</li> </ul> <p>3 Mini Activity Scene1とScene2で学習した文法を使った活動に取り組む。</p> <p>★歴史上の人物がしたことを伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Listenに取り組む。</li> <li>○Speak &amp; Writeに取り組む。</li> <li>○作成した英文を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後学習する内容について関心をもたせる。</li> <li>・ペアで伝え合うことで話の内容や使われている文法事項に気付かせる。</li> <li>・世界中で起きている自然災害と防災について知る。</li> <li>・視覚教材を映しながら, “Do you know who this man is?” のようなクイズを出題して答えさせることで, 間接疑問文の使い方や語順を理解させる。</li> <li>・既習の疑問詞の意味を確認する。</li> <li>・基本表現の定着を図る。</li> <li>【評】 間接疑問文を用いて, 互いに自分のことを伝え合う活動や相手に質問したり, 答えたりする活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</li> <li>・視覚教材を用いて, 話の内容を理解しやすくさせる。</li> <li>・電子黒板やタブレット等を用いて, テンポよく行う。</li> <li>・何度も音読することで, 文の構造や内容を理解させる。</li> <li>・視覚教材を用いながらSV00(what節)を用いた会話を聞かせ, SV00(what節)の意味を推測させ, 語順を理解させる。</li> <li>・既習の動詞の変化を確認する。</li> <li>・基本表現の定着を図る。</li> <li>【評】 SV00(what節)を用いて, 互いに自分のことを伝え合う活動や相手に質問したり, 答えたりする活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</li> <li>・視覚教材を用いて, 話の内容を理解しやすくさせる。</li> <li>・電子黒板やタブレット等を用いて, テンポよく行う。</li> <li>・何度も音読することで, 文の構造や内容を理解させる。</li> <li>・Scene1とScene2で学習した内容を事前に復習した後に活動をさせる。</li> <li>・聞き取りのポイントを提示し取り組ませる。</li> <li>・ペアで確認し合うことで, 生徒自らの気付きを大切にする。</li> <li>・ペアで伝え合うことで, 表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。</li> <li>・名前が出た生徒に知っているかを確認することで表現活動の時間を増やす。</li> <li>【評】 学習した文法事項を用いて, 自分の好きな人物や尊敬する人物について相手に尋ねた</li> </ul>

○ 振り返り活動を行う。

4 Read and Think1(1) 現在分詞を使った後置修飾について学習する。

★好きな人について情報を加えて伝えよう。  
○ 現在分詞を用いた文の形・意味・用法を知る。

○ 基本表現の学習をする。  
○ Practiceに取り組む。

5 Read and Think1(2) 日本で地震の被害に遭った外国人の体験談を読み、その内容を読み取る。

★地震の際に外国人が困ったことを読み取ろう。  
○ 本文の学習をする。  
○ オーラルイントロダクションを行う。

○ 新出語句を確認する。

○ 音読練習をする。

○ Roundに取り組む。

6 Read and Think2(1) 過去分詞を使った後置修飾について学習する。

★好きな人や物について情報を加えて伝えよう。  
○ 過去分詞を用いた文の形・意味・用法を知る。

○ 基本表現の学習をする。  
○ Practiceに取り組む。

7 Read and Think2(2) 若葉市の外国人支援の取組に関する紹介文を読み、その内容を読み取る。

★若葉市が外国人のためにしていることを読み取ろう。  
○ 本文の学習をする。  
○ オーラルイントロダクションを行う。

○ 新出語句を確認する。

○ 音読練習をする。

○ Round / Point of Viewに取り組む。

8 Unit Activity 学習したことを生かして、外国人のために標識の説明を書く活動に取り組む。

★標識の意味を外国人に伝えよう。  
○ STEP1に取り組む。

○ STEP2に取り組む。

り、相手からの質問に答えたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】友達が知っているかどうかを書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。  
・ワークシートへ記入させ、取組の振り返りをさせる。

【評】振り返り活動への取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・現在分詞を用いて、「…している～を知っていますか」というクイズ形式で導入する。

・現在分詞の形を確認する。

・基本表現の定着を図る。

【評】現在分詞を用いて、好きな人について互いに伝え合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。

・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。

・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。

・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

・問題の答えや書いた英文をペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・過去分詞を用いて、「…された～を知っていますか」というクイズ形式で導入する。

・過去分詞の形を確認する。

・基本表現の定着を図る。

【評】過去分詞を用いて、好きな人や物について互いに伝え合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。

・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。

・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。

・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・問題の答えをペアで対話して確認することで表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

・例を確認することで、説明を書くポイントを理解させる。

・書いた説明をペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の住んでいる場所の標識の説明を英語で書く。</li> <li>○標識の説明を発表する。</li> <li>○単元テストに取り組む。</li> <li>○Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。</li> </ul>	<p>【評】説明を書く活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを使って、自分の住む地域にある標識を探す。</li> <li>・STEP2で書いた説明文を参考にさせる。</li> <li>・発表や発表の後に英語でコメントをさせることで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。</li> </ul> <p>【評】説明を書く活動及び発表の活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、間接疑問文，SV00（what節），現在分詞や過去分詞の後置修飾の用法についての「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、間接疑問文，SV00（what節），現在分詞や過去分詞の後置修飾の文を活用させ、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
--	--

【 備 考 】  
授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。